

3年 社会 (週4時間)

1 教科の到達目標 (学習のねらい、身に付けたい力)

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 年間学習計画と単元(題材)

<歴史的分野>

学期	月	題材名・単元名	学習内容	達成目標(ねらい)
1 学期	4 5	近代の幕開け 近代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> 近代世界の確率とアジア 開国と幕府政治の終わり 明治維新と立憲国家への歩み 激動する東アジアと日清・日露戦争 第一次世界大戦 大正デモクラシー 	<ul style="list-style-type: none"> 市民革命や産業革命の影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 開国と江戸幕府の滅亡を理解する。 明治維新の経緯の理解をふまえ、日本の近代化を日露戦争、条約改正を通して理解する。 第一次世界大戦および第二次世界大戦それぞれの背景、影響と2つの大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解し、国際協調と平和の実現に努めることが大切であることに気付く。
	5 6 7 9	二度の世界大戦と 日本 現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦 戦後の日本と世界 	<ul style="list-style-type: none"> 敗戦から現在の日本が立ち直っていく姿、高度経済成長や冷戦とその終結、世界の多極化の様子について時間経過を理解し説明することができる。
	9 10	個人の尊重 と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> 基本的人権と日本国憲法 	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の基本原理を具体的な生活との関わりを通して理解し、様々な人権についての知識を身に付ける。基本的人権についての問題を多角的に考察することができる。
2 学期	10 11	現代の民主 政治と社会	<ul style="list-style-type: none"> 国の政治のしくみ 地方の政治と自治 	<ul style="list-style-type: none"> 国会・内閣・裁判所の仕事内容に興味をもち、三権の関係を理解することができる。 議会制民主主義や住民自治の意義を考え、主権者としての政治参加のあり方を考察することができる。
	11 12	私たちの 暮らしと経済	<ul style="list-style-type: none"> 暮らしと経済 生産と労働、価格と金融 政府の役割と国民の福祉 これからの経済と社会 	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動を身近な消費生活を通して理解させる。また経済の事象を捉える見方や考え方の基礎を身に付ける。
	12 1	地球社会 と私たち	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会と世界平和 国際問題とわたしたち 	<ul style="list-style-type: none"> 国際問題に関心をもち、国際社会における日本の役割やあり方を考えさせることができる。
3 学期	1 2	《3分野総合》 3年間の総まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 地理、歴史、公民 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習内容全体を復習する。都立入試の傾向と対策を問題演習しながら身に付ける。
	2 3	よりよい社会を目指 して	<ul style="list-style-type: none"> 国際問題の理解と平和の実現に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> 世界平和や福祉のため、自分に何ができ、どうすればよいかを他人の意見も聞いて参考にして考えをまとめることができる。

<公民的分野>

学期	月	題材名・単元名	学習内容	達成目標(ねらい)
2 学期	9	・現代社会と私たち	・現代社会の見方や考え方	・よりよい社会生活を営むために必要な考え方を、決まり作りを通して身につけることができる。
	10	・個人の尊重と日本国憲法	・日本国憲法の基本原理	・日本国憲法の原則やその内容について理解し、知識を身に付けている。 ・様々な人権についての知識を身に付けている。
	11		・日本の平和主義 ・基本的人権と個人の尊重 ・人権と共生社会	
		・現代の民主政治と社会	・国の政治のしくみ ・地方の政治と自治	・日本の政治の形について自分の考えをもち、発表できる。また、政治に関する新聞記事やニュースからその内容を説明できる。 ・国会・内閣・裁判所の仕事内容に興味をもち、三権の関係を理解することができる。 ・地方自治の重要性を理解することができる。
	12 1	・私たちの暮らしと経済	・暮らしと経済 ・生産と労働、価格と金融 ・政府の役割と国民の福祉 ・これからの経済と社会	・経済活動を身近な消費生活を通して理解させる。また経済の事象を捉える見方や考え方の基礎を身に付ける。
	2	・地球社会と私たち	・国際社会と世界平和 ・国際問題とわたしたち	・国際問題に関心をもち、国際社会における日本の役割やあり方を考えさせることができる。
	・3年間の学習の総まとめ	・地理、歴史、公民	・3年間の知識を整理し、社会科全分野を体系的に捉え、総合的に学習をし、理解することができる。	
	・よりよい社会を目指して	・国際問題の理解と平和の実現に向けて	・世界平和や福祉のため、自分に何ができ、どうすればよいかを、他人の意見も聞いて参考にして考えをまとめることができる。	

3 評価方法

各 観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 資料を適切に活用して、ワークシートに取り組んでいる。 テストにおいて資料から適切な解答ができています。 社会的事象についての理解を深め、知識を身に付けている。 テーマに沿ったレポートを作成できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 小テスト レポート作成 定期テストにおける資料読み取り問題
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> テーマに沿ったレポートに自分の考えを表現することができる。 テストにおいて、記述問題に解答できている。 作成したレポートやスライドを簡潔にまとめ分かりやすく発表できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート レポート作成 定期テストにおける記述問題
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 予習、復習を含めた授業準備をし、授業に臨んでいる。 社会の動きを新聞やニュースなどから読み取り理解し関心をもっている。 作成したレポートやスライドに自らの意見や考えをまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出物 (振り返りシート、ニュース記事など) 定期テスト レポート発表

4 授業の取組についてのアドバイス

- ・黒板に書かれたことは、その時間の記録です。ワークシートやノートに必ず書き写しましょう。字は丁寧にはっきりと書き、色ペンなどで工夫しまとめましょう。
- ・わからないことをそのままにしないで、休み時間や放課後を利用し積極的に質問しましょう。
- ・タブレットは大変、便利な文房具です。積極的に活用し技能を身に付けましょう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・宿題について・・・宿題はやらねばならない課題です。教科書を読んで取り組んでかまいません。丁寧に調べて取り組みましょう。また、普段から漢字を使う努力をしましょう。
- ・復習について・・・授業で学習した部分は、教科書やノートを読み直してその日に復習をしましょう。また、ノートの余白に自分の感想や疑問を書きましょう。疑問に思ったことは、調べたり先生に質問したりしましょう。

6 定期テスト前の取組についてのアドバイス

- ・教科書に書かれている内容を理解して、読み込むことが大切です。必ず文章を一読しましょう。
- ・ノートには授業の要点がまとめられています。
- ・資料から情報を読み取る問題も出題します。資料集の統計資料や写真などをよく確認しておきましょう。

7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- ・毎時間の授業ではプロジェクターや黒板に書いたことを丁寧にノートに書き写すようにしましょう。
- ・授業の復習を丁寧にやりましょう。(復習のやり方は5で説明した通りです)
- ・担当の先生や友人に勉強のやり方を聞いてみるのも一つの手です。

8 入試に向けての取組のアドバイス

- ・入学試験では3年生の学習内容だけではありません。むしろ1・2年生の学習内容(地理・歴史)が多く出題されます(都立入試の場合は70%以上、さらに言えば地理的分野の内容<統計表・グラフの出題>が多くなってきています)。夏休みが終わるまでに1・2年生の復習を一通り行いましょう。自分で購入した問題集を何度も繰り返し、解いてみることも有効です。
- ・教科書は優れた参考書です。また、これまでのノートやプリントも上手に活用すれば学習内容の復習につながります。